

第108期 中間株主通信

2022.4.1 — 2022.9.30

INDEX

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	3
トピックス	5
会社情報 他	7

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第108期上期(2022年4月1日から9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

朝倉 研二



Q

上期の概況をお聞かせください。

A

厳しい環境下でしたが、ニュートリション関連や半導体関連ビジネスが好調に推移しました。

上期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による影響から回復の動きが進みましたが、サプライチェーンの混乱や資源価格の高騰、また、上海でのロックダウンの影響もあり、回復のスピードは緩やかなものとなりました。日本経済は緩やかな景気回復基調にあるものの、米国景気の先行きや円安による物価高の進行など不透明感が継続しています。

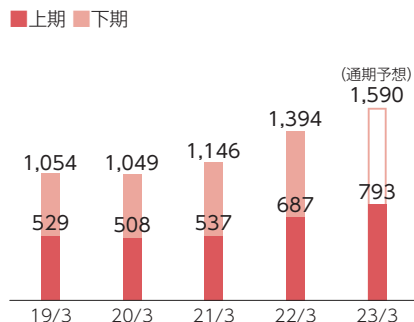
このような状況でしたが、当社グループにおいて

は、米国Prinovaグループのニュートリション関連ビジネスや、半導体関連ビジネスが好調に推移し、為替が円安に推移したことも業績面でのプラス材料となりました。

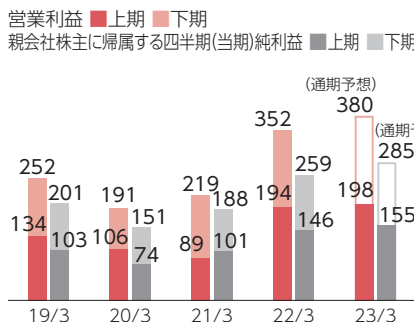
その結果、上期における業績は、国内の売上総利益は、355億円(前年同期比+0.9%)、海外は437億円(同+30.9%)となり、全体で793億円(同+15.5%)となりました。営業利益は、物流費の高騰や活動の増加に伴う販管費の増加があるものの、売上総利益の増加が上回り、198億円(同+2.0%)となりました。経常利益は借入金の増加や金利の上昇に伴う支払利息の増加などにより202億円(同△0.9%)

業績レビュー

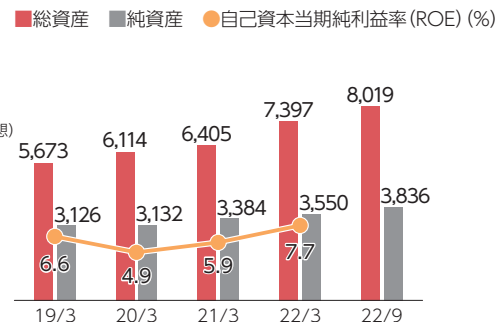
売上総利益 (億円)



営業利益・純利益 (億円)



総資産・純資産 (億円)



となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の減少などにより155億円(同+6.6%)となりました。

Q 通期の見通しはいかがですか？

A 不透明な状況が続きますが、2期連続で過去最高益を更新する見込みです。

下期の事業環境は、原材料価格や、電力・ガス等のユーティリティコストが引き続き高い水準で推移することに加えて、世界景気の後退が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くとみています。一方で当社の事業においては、半導体関連、自動車関連、ライフ&ヘルスケア関連などが堅調に推移することで、一定の利益を確保できるものと予想しています。

これらの結果、通期連結業績予想は期初の公表値どおり、売上総利益1,590億円(前期比+14.0%)、営業利益380億円(同+7.8%)、経常利益390億円(同+6.9%)、親会社株主に帰属する当期純利益285億円(同+9.9%)を見込んでいます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A NAGASEグループの成長を牽引する事業に投資し、強靱な収益構造を目指します。

外部環境の変化が激しい状況にあります。中期経営計画**ACE 2.0**の下、引き続き、資本効率性の高い事業へ経営資源の再投下を進めていきます。

ACE 2.0では、バイオ関連、半導体関連、フード関連ビジネスを注力領域として掲げています。

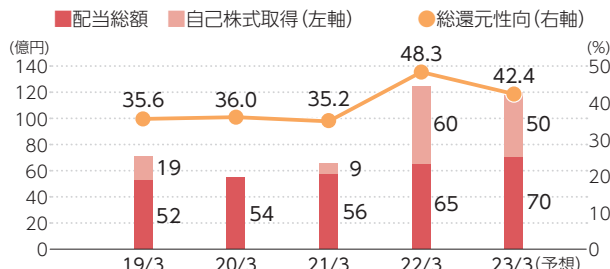
バイオ関連は、環境変化を背景に、グループ内に分散していた研究・技術・製造各機能を改めてデザインし、これまでの連携から融合へと体制を進化させ、ダイナミックな事業展開と効率化を加速し、競争優位性を高めていきます。2025年度までの**ACE 2.0**の期間中に成果が多く現れることを期待しています。

半導体関連は、自動車をはじめ様々な分野で需要が高まっており、まだまだ伸びていくとみています。当社は、半導体のプロセス材料となる高機能素材を多数取り扱っており、今後は、グループ横断型組織により、日米中台のサプライチェーン全体での情報共有・連携促進に取り組み、より強い事業基盤構築を目指します。

最後に、フード関連です。食品素材の販売・加工製造を展開する米国Prinova社は、2件の事業買収に加えて、米国ユタ州でのスポーツニュートリションの製造工場の新設により、事業を拡大しています。世界的な健康志向の高まりにより、スポーツニュートリションなど食品素材の需要が拡大しており、今後は東南アジア地域での展開の加速、さらなる設備投資やM&Aによる拡大も視野に入れていきます。

株主の皆様におかれましては、中長期の視点でNAGASEをお見守りいただき、一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株主還元状況



1株当たり 配当額	中間	18円	22円	22円	24円	30円
	期末	24円	22円	24円	30円	30円
	計	42円	44円	46円	54円	60円

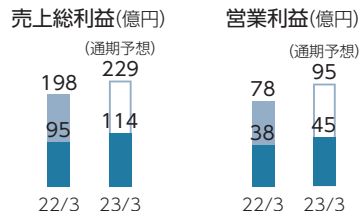
決算ハイライト

セグメント別概況

■ 上期 ■ 下期

機能素材

売上総利益 114億円
営業利益 45億円

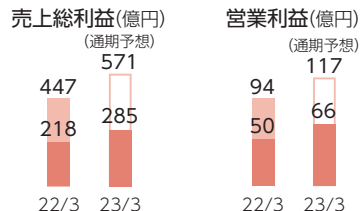


上期の状況

半導体関連等の電子業界向けのエレクトロニクスケミカルの販売が増加したほか、塗料・ウレタン原料や、加工油剤・樹脂関連原料の販売が増加。

売上総利益 285億円
営業利益 66億円

生活関連

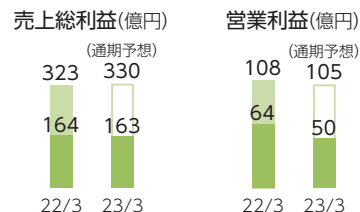


上期の状況

AA2G®等の香粧品素材は海外での需要減少を受けて販売が減少したものの、トレハ®等の食品素材、医薬品原料の販売が増加。ニュートリション関連ビジネスは素材販売・製造加工ともに好調に推移。

加工材料

売上総利益 163億円
営業利益 50億円

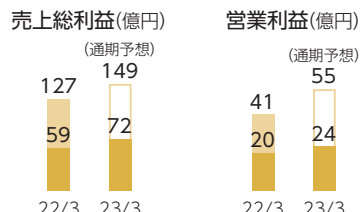


上期の状況

顔料・添加剤、工業用・包装材料用途の樹脂の販売が増加したものの、OA・ゲーム機器業界等への樹脂販売において、前年同期の市況高騰による利益率上昇の反動等により収益性低下。

売上総利益 72億円
営業利益 24億円

モビリティ

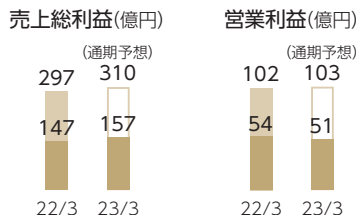


上期の状況

自動車生産台数の増加に加え、円安の影響もあり樹脂の販売が好調。また、内外装・電動化用途の機能素材・機能部品の販売が増加。

電子・エネルギー

売上総利益 157億円
営業利益 51億円

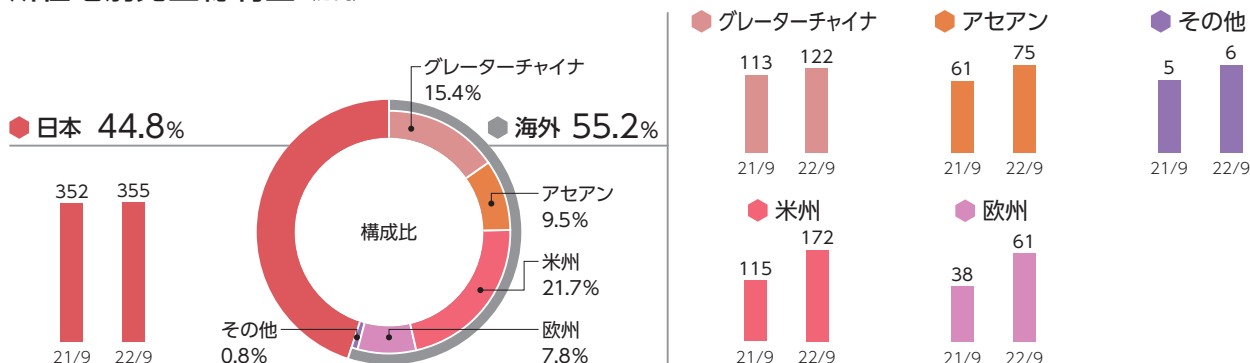


上期の状況

半導体用途向けの変性エポキシ樹脂関連、精密加工関連の販売が増加。ディスプレイ材料、ディスプレイ等向けのフォトリン材料関連の販売は減少。売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は減益。

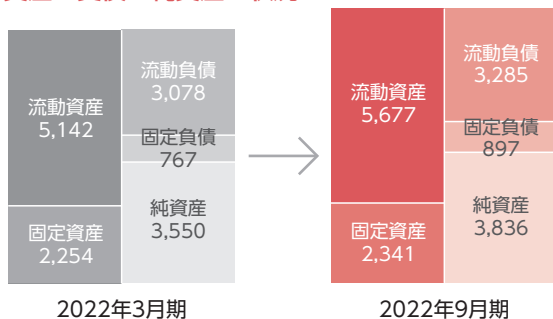
売上総利益 793億円
営業利益 198億円

所在地別売上総利益 (億円)

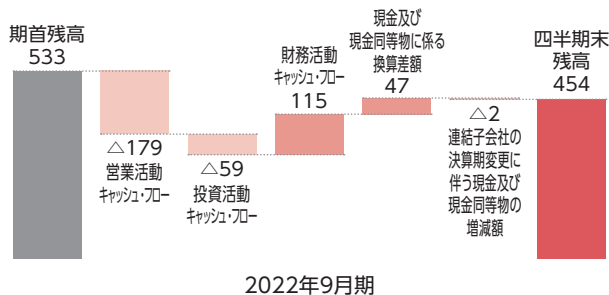


連結財務諸表サマリー (億円)

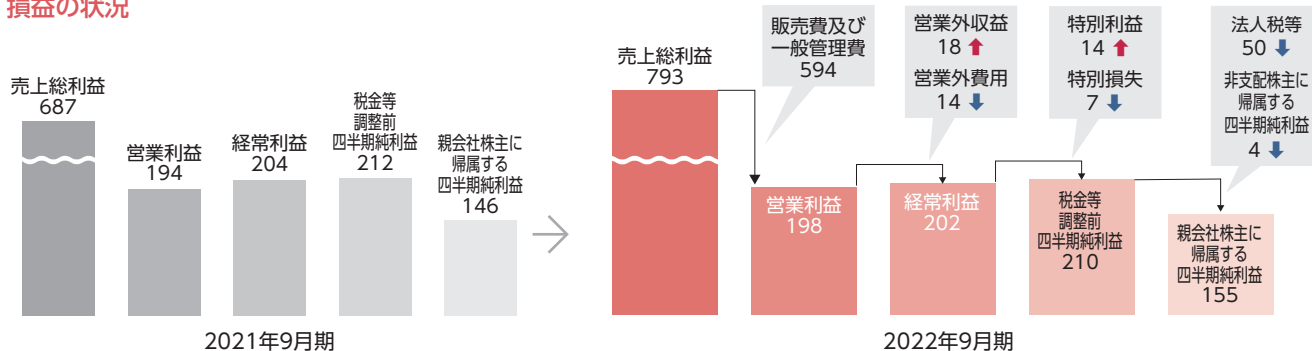
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



TOPICS
1

ESG投資の代表的指数の構成銘柄に選定

当社は、英国のFTSE Russellが構築した「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」〔FTSE Blossom Japan Index〕の構成銘柄にそれぞれ選定されました。FTSE Blossom Japan Indexシリーズは、ESG(環境・社会・ガバナンス)評価の高い日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されており、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG指数として採用するなど、ESG投資の代表的な指数です。当社は、GPIFが採用しているESG指数のうち、「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」に既に選定されています。今回の選定により、GPIFが採用する国内株式ESG指数5つのうち、4つに選定されたこととなります。

加えて、当社はSOMPOアセットマネジメント株式会社が設定する「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄にも選定されました。SOMPOサステナビリティ・インデックスは、同社の長期投資を志向する「サステナブル運用」に活用されており、複数の年金基金や機関投資家に採用されています。

当社の長期的な企業価値評価につながるESG全般の取り組みが高く評価され、これらの銘柄に選定されました。NAGASEグループは、今後もサステナビリティ課題に積極的に取り組んでいくとともに、ステークホルダーとの相互コミュニケーションに努め、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

FTSE Blossom
JapanFTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022



Somp Sustainability Index

TOPICS
2

「NAGASEカップ」WPA公認 パラ陸上競技大会を開催



当社は、「WPA公認NAGASEカップ パラ陸上競技大会」(以下、「NAGASEカップ」)に特別協賛し、2022年7月2日、3日に新規の大会として開催しました。NAGASEカップは、障がいの有無に関係なく参加可能な「日本陸連公認の部」(男女計13種目)とパラアスリートのみが参加可能な「パラ公認の部」(男女計34種目)の2部構成で、パラアスリート137名(男子107名、女子30名)をはじめ、全293名(男子212名、女子81名)が参加しました。

当社の社員であるT11(視覚障がい・全盲)の和田伸也選手も日本陸連公認の部男子800mに出場し、T11の日本記録・アジア記録を更新しました。また、T63(義足・機能障がいなど)の保田明日美選手が、日本陸連公認の部女子400mに出場し、WPA世界記録を更新するなど、数多くの記録が誕生しました。今後も国内最大規模のパラ陸上競技大会としてNAGASEカップを開催していく予定です。

NAGASEグループは、パラスポーツへの支援を通じて、広く社会に貢献してまいります。

(左)和田伸也選手
(右)伴走者 長谷部匠氏

保田明日美選手 世界記録更新

TOPICS 3 東京本社ビル建替えに伴う仮移転

日本橋から常盤橋、そしてふたたび日本橋へ 新東京本社プロジェクト PROJECT BRIDGE

当社は、東京本社ビル(東京都中央区日本橋、1969年竣工)の老朽化に伴う建替えのため、2022年8月より常盤橋タワー(東京都千代田区大手町)に仮移転しました。東京本社ビルから常盤橋タワーを経て、日本橋の新東京本社ビルへ戻る当プロジェクトは、PROJECT BRIDGEとして推進されてきました。今回の仮移転は単なる引っ越しではなく、NAGASEグループの強い個性が、グループ内外でより強いシナジーを生み出すための働き方の変革を目的としています。より良い職場環境の検証を進めるだけでなく、全社員が目的を理解して新オフィスを有効活用できるように、各部門の代表となるエバンジェリストを選出し、移転前から全社員との定期的な対話を通じて目的の浸透を図ってきました。

東京本社 常盤橋オフィスでの新しい働き方を開始

新オフィスでは、固定席を廃止し、社員自らが業務の内容・状況に応じて業務スペースを自由に選択し、全社員でスペースを共有しています。スペースを共有することで、社員が自律的・主体的に各部門とコミュニケーションを行い、新たな価値を創造することを目的としています。また、オフィスのスペースだけではなく、デジタルを活用したペーパーレス化や、スマートフォンへの移行による固定電話の廃止など、働き方の変革も進みました。

従来の“当たり前の働き方”から“ニューノーマルな働き方”へ、NAGASEグループは、より密なコミュニケーション、コラボレーションにより、新しい価値を提供してまいります。



受付



共創スペース



常盤橋タワー 提供:三菱地所株式会社



プレゼンテーションコーナー



オープンミーティング



ファミレススペース



スタンダードデスク



カフェ

会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセバイオイノベーションセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県尼崎市)

株式の状況

発行済株式の総数	120,908,285株
株主数	25,111名
大株主の状況	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,693	13.26
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.88
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	4,817	4.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,639	3.92
株式会社三井住友銀行	4,377	3.70
日本生命保険相互会社	3,589	3.03
長瀬令子	3,511	2.97
長瀬産業自社株投資会	3,312	2.80
株式会社長瀬舜造	2,688	2.27
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	2,362	2.00

※ 持株比率は自己株式(2,593,465株)を控除して計算しております。

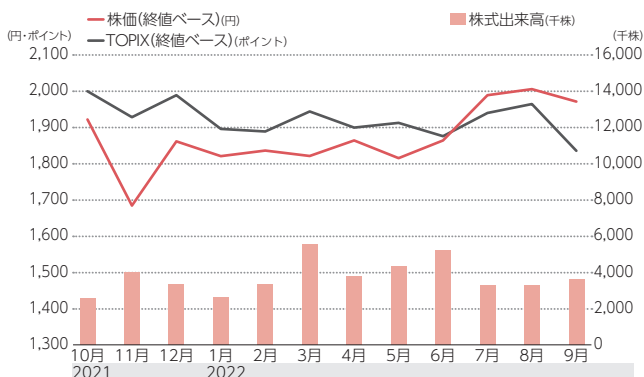
〇 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

〇 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である右記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

株価/出来高の推移 (2021年10月1日~2022年9月30日)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所 (郵便物送付先)
(電話照会先)
(照会先URL)
公告方法

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

公告方法

電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株
株主に対する特典
毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元以上を半年間以上保有の株主を対象に、保有期間に応じて、カタログギフトを贈呈。

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場

本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

